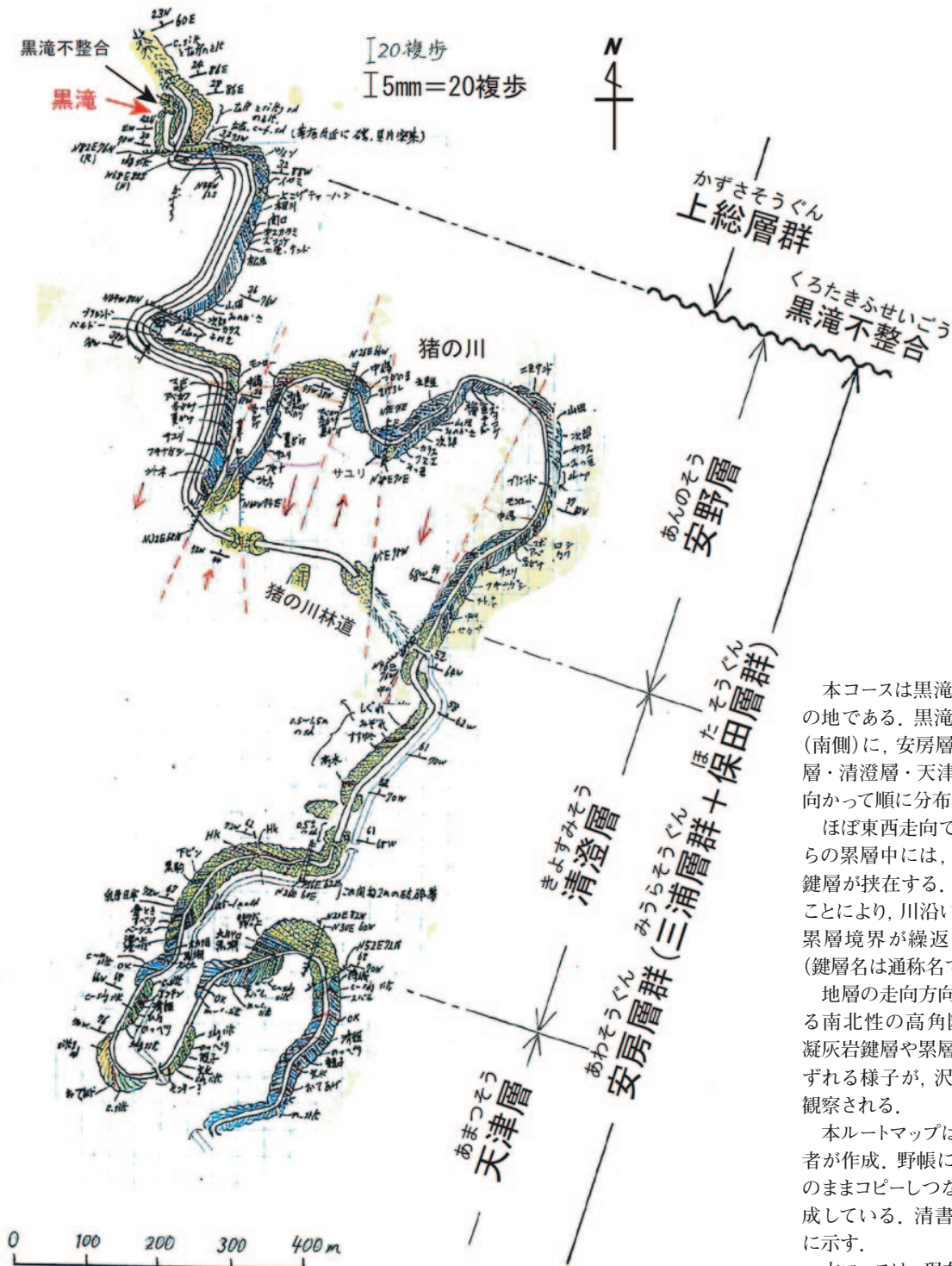


3年間(2007-2009)の地質の調査研修を振り返って(2)

Bコース1: ルートマップ作成中級(応用)コース(川沿い本流コース)

おびつがわ いのかわ くらたきざわ
 <小櫃川支流猪の川(黒滝沢): 東京大学千葉演習林内>



(1976年徳橋作成)

本コースは黒滝不整合の発祥の地である。黒滝不整合の下位(南側)に、安房層群上部の安野層・清澄層・天津層が、南方に向かって順に分布している。

ほぼ東西走向で北傾斜のこれらの累層中には、多数の凝灰岩鍵層が挟在する。川が蛇行することにより、川沿いに同じ鍵層や累層境界が繰返し観察される(鍵層名は通称名で表現)。

地層の走向方向にほぼ直交する南北性の高角断層によって、凝灰岩鍵層や累層境界が南北にずれる様子が、沢沿いで何度も観察される。

本ルートマップは、1976年に著者が作成。野帳に書かれた状態のままコピーしつなぎ合わせて作成している。清書した図を本文に示す。

本コースは、現在もほぼ同じ状況で観察される(口絵3参照)。